

2年生 インターンシップ

(就業体験学習)

2年生もまとめの時期に入り、いよいよ3年次の進路決定に向けて具体的な活動、準備を始める時期となり、2月中旬より就職希望者を対象にインターンシップ（就業体験学習）を行いました。

このインターンシップは、働くこととはどういうことなのか、またその厳しさとは何かについて、生徒一人ひとりが実際に体験し実感できるようにと考え、行っているものです。

実習先は、清掃、接客/販売、宅配、運送、特別養護老人ホーム、レストランなど様々ですが、卒業生の就職先など、本校の教育に深く理解を頂いている企業を中心にお願いしています。



(インターンシップの感想)

1日目は初めてだったので、レジもうまくまわすことができませんでした。働くということは、ただ教えてもらうだけではなく、慣れている人の真似をすることも大切だと感じました。そして、何より私が一番感じたのは、会計が終わったあとに、お客様から「ありがとうございます」と言われた時の安心感と気持ち良さです。緊張していた私にはこの一言がとても励みになりました。だから、私は自分がプライベートで買い物をして会計を終えたあと、必ず店員さんに「ありがとうございます」とお礼を言うようになりました。

仕事はとても楽しくあっという間に時間が過ぎ、5日間が終わってしまいました。でも忙しい方が楽しかったです。料理の作り方、ケーキの上手なクリームの塗り方等を教わったりしました。また、飲食店では安全が第一と教わりました。それは「食の安全」「お客様の安全」「店員の安全」、つまりお店の中にいる全ての人の安全を第一に考えることが重要であるということだそうです。5日間一緒に仕事をして職場の人たちがとても優しく親切で充実したインターンシップでした。

初日は不安でしたが、職場の人たちがとても気さくで、その不安もすぐになくなりました。毎回配達の際に一緒だったTさんは、自分が話さずにいるとすぐに色々な話題をふってください、やはりコミュニケーションはとても大事なのだと改めて思いました。他にレジ補助をしていた時にSさんに色々教えて頂いたのですが、お客様をよく見て（袋があるのか？しきりがいるのか？）を判断するのだと教えて頂きました。接客や販売に限らず「お客様をよく見る」そして「考える」ことが大事であるということがよくわかりました。5日間という短い期間ではありましたが、仕事の大変さ、厳しさを体験することができました。